

ロシア（極東）

2004年1～9月ハバロフスク地方及び沿海地方の経済状況

ハバロフスク地方及び沿海地方の2004年1～9月の経済社会指数に関し、各々前年同期比で比較した場合、全体的に沿海地方の発展のテンポが速かったと言えよう。

鉱工業生産高については、沿海地方が2.8%増であったのに対し、ハバロフスク地方は-13.6%となった。ハバロフスク地方では、鉱工業の25%を占める機械製造・金属加工工業の生産高が約3割減少したことが大きい。

実質可処分所得は、ハバロフスク地方が5.1%増であった一方、沿海地方では16%増を記録した。これに伴い、小売売上高に関しても、沿海地方の方が高い成長率（13%）を見せた（ハバロフスク地方は7.3%増）。

固定資本投資に関しても、沿海地方の方が活発的であり9%増であったのに対し、ハバロフスク地方では2%のみの成長率に止まった。

輸出額増加率については、ほぼ同じ程度であった。しかし、輸入については、ハバロフスク地方で前年同期レベルに止まった一方、沿海地方では86.2%増加したため、沿海地方の総貿易高は、ハバロフスク地方を大きく上回った（各々48.5%と11.5%）。

雇用に関しては、両地方ともに就業者数が若干増え、失業者数が減少傾向にあるが、登録された失業者数そのものは増加した（沿海地方が10万7千人、ハバロフスク地方が12万6千人）。その理由として、2003年1月に採択されたロシア連邦国民雇用法による登録方法の変更や未だに自発的失業者も相当程度含まれている等の諸説がある。

他方、ロシア極東地域では、旧ソ連崩壊以降の人口流出現象に歯止めがかかっておらず、ロシア全土の4割弱を占める同地域の人口は、2004年時点で700万人を下回った。ロシア極東全体としても、ロシア全土同様、総じて経済発展が続いているなか、人口不足問題が益々深刻化しているのも事実である。

太平洋パイプライン計画の現状

2004年12月31日、フラトコフ・ロシア首相は、太平洋パイプライン計画の推進を承認する政府決定第1737号-rに署名した。元より、東シベリアから太平洋岸に向かうルートは幹線とこのルート途上に中国に向かう支線を繋ぐ案につ

いては、2003年8月に発表された『2020年までのロシア・エネルギー戦略』に明記されていた。今次決定は、太平洋ルートをより具体的にプロジェクト化することを承認したものである。

2003年1月、小泉首相が訪口した際、日口両国首脳は、『日口行動計画』に署名し、ロシア極東・シベリア地域のエネルギー資源の開発や輸送パイプライン整備を推進する上で相互利益となるプロジェクトを見出した上で協力し合うことを謳った。それに先立ち、中国はロシアとの間で、イルクーツク州のアンガルスクから中口国境区域のチタ州ザバイカリスクと内蒙古自治区満州里の間を經由して黒龍江省大慶に至るパイプライン建設につき基本的合意に達していた。

今回の政府決定は、ロシア側は太平洋パイプラインの起点をアンガルスクより更に以西のタイシエツトとし、バイカル湖以北を回り（即ち、ザバイカリスクと満州里を通過しない）、中露国境の以北100km未満の地点に位置するアムール州スコヴォロディノを經由して太平洋岸の沿海地方ペレヴォズナヤに原油を出す計画を前提としている。同決定では、東シベリアから太平洋岸に至るパイプラインで年間約8,000万トンの原油を輸送することを想定している。但し、そのうちどの位の量が何年後辺りを目処に太平洋岸に達するのかといった問題を巡り未知数も少なくない。例えば、1)スコヴォロディノから大慶に向かう支線ルートの可能性が完全に消えたわけではなく、2)外国投資受入の具体的な方式が定まっておらず、3)資金調達の見方も明確化していない。同決定によれば、本年5月1日までに、産業エネルギー省、経済発展貿易省及び財務省は、共同して同パイプライン建設の経済性を高める手段に関する提言書をまとめることになった。

尚、小泉首相訪口以降、一般的に東シベリアからのパイプライン・ルートを巡る「国際競争」を「zero-sumゲーム」と捉える傾向が少なくないが、関係当該諸国間の「win-winゲーム」と転ずる契機ともなり得るとの見方については、ERINA Report 62号[本号]所収の『日本・中国・ロシア - エネルギー安全保障の新しい関係構築に向けて』を参照されたい。

（ERINA調査研究部研究員 ドミトリー・セルガチョフ、
同 伊藤庄一）

2004年1～9月の主要経済社会発展指数

（前年同期比、%）

	鉱工業生産高	農業生産高	小売売上高	固定資本投資	貿易総額	輸出	輸入	実質可処分所得
ハバロフスク地方	13.6	1.0	7.3	2.0	11.5	13.3	0.0	5.1
沿海地方	2.8	1.8	13.0	9.0	48.2	12.0	86.2	16.0

出所：各地方政府ホームページ（<http://www.adm.khv.ru/>）及び<http://www.primorsky.ru>）